

# 平成 26 年度 生産実習成果報告書

実習生 建築工学科 3年 24058 菅野達夫  
実習先名称 株式会社松田平田設計  
実習期間 平成 26 年 8 月 4 日 (月) ~ 9 月 4 日 (木) [10 日間]

## 1. 実習の目的及びテーマ

設計事務所の基本的な業務の流れを学ぶ。その中で、基本設計の過程において建築計画の手法に注目する。大学の設計演習と比較することで、これまでの取組みに対する見直しを図り、設計演習での意図を再認識し、今後の学習に役立てる。

## 2. 実習内容

### 2-1. 書類製作

#### 2-1-1. 作成した書類

- ・社内外で行われる打ち合わせ、会議などに用いる資料。(プレゼンシート等も含む)
- ・確認申請書

#### 2-1-2. 主な作業

- ・資料の変更に関する変更点の明示
- ・プレゼンシートにおける配置図の着色、ダイアグラムの作成、レイアウト。
- ・確認申請書のフォーマット変更に合わせて書き換えを行った。

#### 2-1-3. 作業に使用したソフト

- ・ Microsoft Word
- ・ Adobe Illustrator

### 2-2. 図面製作

#### 2-2-1. 作成した図面

- ・商業施設の平面図、立面図
- ・教育施設の平面図

#### 2-2-2. 主な作業

- ・面積算定(商業施設の平面図から緑化面積雨水貯留槽の計算を行った。)
- ・商業施設の立面図におけるファサードの修正
- ・教育施設の平面図における文字やハッチングの修正

#### 2-2-3. 作業に使用したソフト

- ・ Auto CAD

### 2-3. 模型製作

#### 2-3-1. 作成した模型

- ・商業施設の 1/100 模型
- ・教育施設の 1/200 模型

#### 2-3-2. 主な作業

- ・商業施設の模型では人や樹木の配置、変更点の修正、床面の色彩調整、破損部分の修復を行った。
- ・教育施設の模型では外壁のパーツを作成した。

### 2-4. その他

- ・打ち合わせや会議に用いる資料の出力、ファイリング
- ・プレゼンシートの前例のコピー
- ・建築計画に関する資料、材料のカタログ、サンプルなどが置かれている棚の整理
- ・フローデザイナーによる風環境のシミュレーション

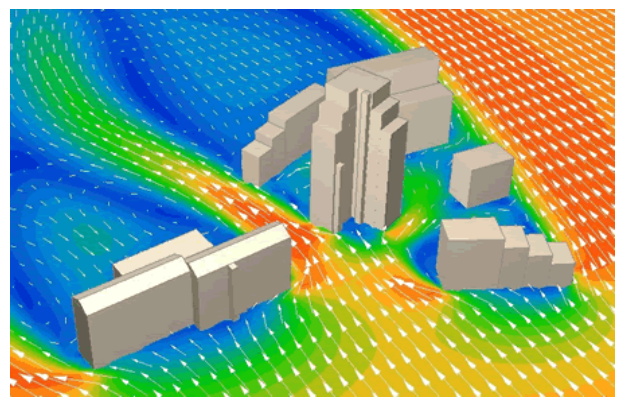


写真 1 フローデザイナーによるシミュレーション

### 3. 実習の成果

#### 3-1. 設計演習と比較した点で見る基本設計

基本設計の主な流れは打ち合わせや会議を重ねることで計画を進めていく。各打ち合わせには資料(プレゼンシート等)、図面、模型などを持ち寄って行われる。この過程から大学の設計演習と基本的な流れが同様であることがわかる。

##### 3-1-1. 書類製作

プレゼンシートの作成では計画の途中段階にも関わらず、前例を参考にしながら最終的なフォーマットで製作を進める。打ち合わせにはその段階まででまとめ上げたものを資料として持ち寄る。まとめ上げることで質の高い話し合いに繋がり、提案に対する変更点や修正点が具体的に見えてくる。設計演習時も先生が「ひとまず完成させることが大切である」と言われることにもリンクする内容である。

##### 3-1-2. 図面製作、模型製作

図面製作では主に修正作業を行った。なかでも商業施設の立面図の修正は数回行った。別で行われている打ち合わせで変更が決定される。それに従い図面を修正する。梁や柱の位置などディテール部分にも時間をかけて作り上げる。つまり、打ち合わせは設計演習におけるエスキースに当たる。エスキースの量がディテールまでの設計に繋がる。

模型製作においても同様に修正作業が繰り返される。



写真 2 打ち合わせの様子

#### 3-2. 発見

実習全体を通して基本設計に関わること以外にも多くの発見があった。私が所属していたのは意匠設計の部門であるが、会社には他にも構造設計、設備設計など多くの部門で構成される。そのため、異なる部門の人同士が話し合っているのをよく目にした。これは意匠設計において構造面や設備面の内容を扱ったときにわからない部分が生じた場合などに専門家として構造設計者や設備設計者の話を聞くことがあるそうだ。このことから意匠設計ではデザインに関すること以外に構造や設備など建築における幅広い知識が必要になる。意匠設計のなかでフローデザイナーを使用した風環境のシミュレーションを行うことから理解できる。

### 4. 感想

今回は設計演習との比較をテーマに実習に臨んだ。作業を通して設計業務と設計演習が対応していることがわかり、これまでの取組みを見直す良い機会となった。今後はこれまで以上に真剣に設計に向き合っていきたいと思う。

また、社員の方が真剣に設計に取り組んでいる姿や計画されている建築を見ることで設計に対するモチベーションが上がり、将来への期待が膨らんだ。一方で、社員の方から残業など建築業界の現状についての話をしていただき、私の考えていたこととは異なっていたことから不安も抱いた実習であった。

### 謝辞

この度は生産実習に当たりご協力いただいた株式会社松田平田設計様に深く感謝致します。8月4日(月)~9月4日(木)の10日間は学内では体験できない貴重な時間を過ごすことができました。今回、学習させて頂いたことを今後にも活用し、より一層の努力をしていく所存です。短い間でしたが、ありがとうございました。